

会員限定

2021年3月度合同研究会

金融マーケティング研究会

金融システム研究会

2021年3月1日～3月12日

デジタルサイネージ

～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～

～銀行におけるデジタルサイネージ活用法～

Vol. 1 デジタルサイネージ基礎編 ～進歩するサイネージ技術とご利用事例～

Vol. 2 デジタルサイネージ応用編 ～最新トレンド、センシング・AI・顧客体験の向上～

講師：渡辺 剛仁

株式会社 クラウドポイント デジタルサイネージ総合研究所 所長

CONTENTS

目次

デジタルサイネージ ～ DX 化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～

Vol. 1 デジタルサイネージ基礎編～進歩するサイネージ技術とご利用事例～	4
1. デジタルサイネージとは	8
Slide 7 デジタルサイネージとは	10
Slide 8 デジタルサイネージ 定義	10
Slide 9 デジタルサイネージとは？	12
Slide 10 デジタルサイネージとは？	12
Slide 11 デジタルサイネージ市場	14
Slide 12 デジタルサイネージ市場	14
2. デジタルサイネージが活用されている目的・用途	16
Slide 14 デジタルサイネージ用途	16
Slide 15 デジタルサイネージ 目的	18
Slide 16 デジタルサイネージ 導入まとめ	18
3. デジタルサイネージが構成される主な機器・システム	20
Slide 18 デジタルサイネージ表示機器	20
Slide 19 デジタルサイネージ 表示機器	22
Slide 20 デジタルサイネージ 表示システム	22
Slide 21 デジタルサイネージ 機器構成	24
Slide 22 デジタルサイネージ コスト (一般的)	24
4. 社会活用されている事例	26
Slide 24 東京証券取引所	26
Slide 25 伊予銀行	28
Slide 26 紀陽銀行	28
Slide 27 福岡空港国内線ターミナル	30
Slide 28 羽田空港 第 3 ターミナル	30

Slide 29	さいたま新都心駅	32
Slide 30	八重洲地下街	32
Slide 31	八重洲地下街②	34
Slide 32	阪急西宮ガーデンズ	34
Slide 33	ホテルグランヴィア京都	36
Slide 34	Hilton Grand Vacations	36
Slide 35		38
Slide 36	東京大学	38
Slide 37	某オフィス エントランス	40
Slide 38		40
Slide 39	デジタルサイネージ基礎編	42
Vol. 2 デジタルサイネージ応用編～最新トレンド、センシング・AI・顧客体験の向上～		44
1. 最新トレンド(活用例)		48
Slide 7	最新トレンド(3つのキーワード)	50
Slide 8	渋谷スクランブルスクエア 渋谷キューズ	50
Slide 9	小田急線登戸駅	52
Slide 10	検温/消毒/異常検知をサイネージ	52
2. テクノロジーが変えるデジタルサイネージ		54
Slide 12	最新トレンド(活用例)	54
Slide 13	最新トレンド(活用例①)	56
Slide 14	最新トレンド(活用例①)	56
Slide 15	最新トレンド(活用例②)	58
Slide 16	最新トレンド(活用例③)	58
Slide 18	最新トレンド(活用例④)	60
Slide 20	最新トレンド(活用まとめ)	62
3. 「顧客体験」×「デジタルサイネージ」で新たな取り組みへ		64
Slide 23	顧客体験モデル(活用例①)	66
Slide 24	顧客体験モデル(活用例①)	66
Slide 25	顧客体験モデル(活用例②)	68
Slide 26	顧客体験モデル(活用例②)	68

Slide 27	デジタルサイネージ 広告価値算定	70
Slide 28	デジタルサイネージ 広告媒体化	70
Slide 29	72
まとめ	72
Slide 31	デジタルサイネージ 応用編	74

Vol.1 デジタルサイネージ基礎編～進歩するサイネージ技術とご利用事例～

2021年3月度金融マーケティング研究会、金融システム研究会。テーマ、「デジタルサイネージ～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～ Vol.1」をお送りします。

本日、セミナーの講師を担当します、クラウドポイント所属、デジタルサイネージ総合研究所の渡辺と申します。よろしくお願いいたします。

私は、約15年間、デジタルサイネージ業界でサイネージの導入をさせていただいております。

そして、3年前からはデジタルサイネージコンソーシアムという団体でマーケティング・ラボ、いわゆるサイネージを皆さんに広く伝えるという活動の部会にも入っており、デジタルサイネージジャパン、展示会のセッション委員なども詰めさせていただいて、今はサイネージの広報担当もさせていただいております。

よろしくお願いいたします。

●2021年3月度「金融マーケティング研究会」「金融システム研究会」

【テーマ】

『デジタルサイネージ ～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～』
～銀行におけるデジタルサイネージ活用法～

▶ Vol. 1 デジタルサイネージ基礎編 ～進歩するサイネージ技術とご利用事例～

Vol. 2 デジタルサイネージ応用編 ～最新トレンド、センシング・AI・顧客体験の向上～

【概要】

デジタルトランスフォーメーション(以下:DX)への対応は、COVID-19やSDGsを受け、かつてないスピードで加速し変化しています。コミュニケーションの一部である「情報」の伝達の方法にも、デジタル化の波が来ております。「お客様への情報提供」「行内執務エリア・在宅勤務者への情報開示」など、COVID-19による生活様式の変化もあり、扱う情報の在り方、情報提供方法に変換が求められています。

2021年デジタルサイネージは、DX化の波の中で、「情報」を的確に伝えるためのテクノロジーが進化し、その利用方法も幅広く活用されています。「Vol.1」では、デジタルサイネージ基礎編として、社会における活用方法をご紹介します。「Vol.2」では、COVID-19やSDGsに役に立つ最新テクノロジーをご紹介します。皆さまの働く環境における「情報」のデジタル化の参考となる内容をお伝えして参ります。

政府は2021年にも「デジタル庁」を創設し行政分野におけるデジタル化を強力に推進しようとしています。デジタルサイネージは、デジタル化推進の一旦となるメディアとして、改めて注目されています。

 Cloudpoint

登壇者紹介

 Cloudpoint

デジタルサイネージ総合研究所 D.S.R.I



株式会社クラウドポイント
ビジネス開発本部
DS総研グループ GM
兼 デジタルサイネージ総合研究所 所長
渡辺 剛仁

【略歴】

1997年、(株)クラウドポイント入社
クリエイティブディレクター業務を経て、三菱電機との共同開発によりLEDビジョン表示システムを構築、
デジタルサイネージ事業のプロデュース、各種サイネージセミナーの講師を担当。
2015年 当社クラウド型サイネージ事業「CloudExa」を導入し執行責任者
2017年 サイネージ総研研究所 所長を兼任
2018年 DSC (デジタルサイネージコンソーシアム) マーケティング・ラボ部会員
2019年～DSJ (デジタルサイネージジャパン) セッション委員サイネージ広報担当

現在に至る

© 2020 Cloudpoint Inc. All Rights Reserved.

それでは、早速内容に入ってまいります。
今日は、「デジタルサイネージ基礎編」という内容
に着目してお話をさせていただきます。



Cloudpoint

『デジタルサイネージ ～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～』
～銀行におけるデジタルサイネージ活用法～

-4-

アジェンダ

Vol. 1 デジタルサイネージ基礎編	・・・30分
～進歩するサイネージ技術とご利用事例～	
Vol. 2 デジタルサイネージ応用編	・・・30分
～最新トレンド、センシング・AI・顧客体験の向上～	

『デジタルサイネージ ～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～』
～銀行におけるデジタルサイネージ活用法～

アジェンダは、まず「デジタルサイネージとは」。そして、「デジタルサイネージが活用されている目的・用途」。「デジタルサイネージが構成される主な機器・システム」。最後に「社会活用されている事例」。この順番でお話を進めてまいります。

1. デジタルサイネージとは

まず 1 番目。デジタルサイネージとは。

アジェンダ (前半)

Vol. 1 デジタルサイネージ基礎編 30分

～進歩するサイネージ技術とご利用事例～

1. デジタルサイネージとは
2. デジタルサイネージが活用されている目的・用途
3. デジタルサイネージが構成される主な機器・システム
4. 社会活用されている事例

『デジタルサイネージ ～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～』
～銀行におけるデジタルサイネージ活用法～

-5-

Vol.1.デジタルサイネージ基礎編
～DX化に伴う情報のデジタルサイネージ最新活用～

1. デジタルサイネージとは

Slide 7 デジタルサイネージとは

家の外に出たメディア、いわゆる屋外・店頭・店内・公共空間・交通機関・各種施設など、そこにある大型の映像表示機器を使ったシステム機器、ネットワークを総称して「デジタルサイネージ」と呼ばれております。現在では、街の中はかなり溶け込んで、面数としても確認されています。

Slide 8 デジタルサイネージ 定義

デジタルサイネージコンソーシアムというところでは、この定義もさせていただいております。あらゆる場所で——これは家の中を除きますが——ディスプレイや電子的な表示機器を使って発信するメディアを総称しております。ディスプレイの発展、それからネットワークも、無線化の普及と相まって、施設の利用者、来る方、皆様に、その時その時に必要な情報を届けていくというような構成で、この市場は形成されております。

デジタルサイネージとは

-7-

「デジタルサイネージ」とは・・・

屋外・店頭・店内・公共空間・交通機関・各種施設など、家の外にある液晶ディスプレイ(LCD)・LEDビジョン・プロジェクターなどで表示されているデジタルメディアを「デジタルサイネージ」と総称されています。現在では、街の日常に溶け込むほどの面数が確認されています。



デジタルサイネージ 定義

-8-

デジタルサイネージとは・・・

一般社団法人
DSC デジタルサイネージコンソーシアム

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアを総称して「デジタルサイネージ」と呼びます。ディスプレイの発展、デジタルネットワークや無線LANの普及とあわせて、施設の利用者・往来者に深く届く新しい市場が形成されています。



Slide 9 デジタルサイネージとは？

サイネージの特徴ですが、映像を使って表現することが非常に多いメディアの一つです。

デジタルサイネージは街の中にありますので、何か立ち止まって非常に長い間見るというメディアではありません。もしかしたら平均して10秒以内の接点かもしれませんが、短時間に人の目を奪っていくような、サイネージといわれるメディアの一つですので、我々、サイネージ業界から見ると、映像とか絵で何かを見せるということで、お客さんに伝えるスピード感、内容をできるだけ深く短時間で理解してもらおうというような努力をしております。

なので、見る距離によっては文字の大きさを設定させていただき、それから、文字よりも絵のほうが圧倒的に伝達力がありますので、絵をなるべく使う。

そして情報量として、静止画よりも動画。テキストより動画のほうが、実は1分間の内容にすると映像には文字と比べて180万字分の効果があるともいわれております。

Slide 10 デジタルサイネージとは？

「電子看板」という言い方もされておりましたが、いわゆる街の中、ショッピングモール、皆様の動線の中にあるエレベーター、エスカレーターの前、小型店舗、大学、ホテル、病院、様々なところに今サイネージは急速に普及しております。

つまり、電子看板という言葉に代表されますが、屋外にある少し大きめの看板、広告などが皆様には非常に目についているのではないかと思いますので、このような用途の中で、様々、今業界の中では面を増やしているということになっております。

使われ方ですが、広告という使われ方は一つ多くありますが、実は、広告にとどまらずに、いわゆるアナログのポスターをデジタル化していき、そのデジタル化していくことで運用する側の働き方の時短になったりという側面もありますので、市場規模としては、ここからまた3～4年で4,000億円を超えてくるという、矢野総研さんの推測からも見受けられるような数字が出ております。

その矢野総研さんから出ている推計ですけれども、今年(2021年)に3,600億円を超えるメディア、コンテンツ、システムの販売の市場予測。そして2年後の2023年には4,000億円を超えているという効果も予測されております。